

令和3年度 公開研究発表会（オンライン開催）

日頃の研究成果を東京都環境科学研究所の研究員が発表します。
当研究所HP（下記参照）より、**どなたでも予約不要・無料**でご覧いただけます。

オンライン公開期間：令和4年1月7日（金）～令和4年2月28日（月）

質問受付期間：1月7日（金）～1月21日（金） 主な質問の解説を2月28日までHPに掲載

地域環境リスク推定に向けたPRTRデータによる大気中の化学物質の濃度推計

環境資源研究科 主任研究員 櫛島 智恵子

法律に基づくPRTR制度により、私たちは工場や自動車、一般家庭等からの化学物質の排出量を知ることができます。このPRTRデータと大気拡散モデルを組み合わせて推計した化学物質の大気濃度やその推計精度について報告します。

食品ロス把握のためのごみ組成調査と排出実態

環境資源研究科 主任研究員 小泉 裕靖

食品ロスは「本来、食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品」であり、SDGsで取り上げられるなど、世界的な問題となっています。その実態把握を行うためのごみ組成調査の方法や排出状況・排出割合などの結果について紹介します。

広域大気汚染問題に対する地方自治体ネットワーク及び東京都における調査研究

環境資源研究科

鶴丸 央

大気汚染物質は周囲の空気に乗って県境をまたいで輸送されるため、大気汚染問題解決のためには複数の都道府県で協力し合って解決を図る必要があります。本発表では、地方自治体のネットワークや、東京都における調査研究について紹介します。

災害・事故時における環境リスク管理のための化学物質調査手法の提案

環境リスク研究科

加藤 みか

災害・事故に伴い、事業所からの化学物質の漏洩・放出等が生じた場合には、甚大な環境被害につながる恐れがあります。ここでは、化学物質漏洩・放出時における汚染状況の把握や汚染拡大防止のために活用できる調査手法について紹介します。

多摩川中流域における微量元素の概況調査

環境リスク研究科

山崎 正夫

多摩川中流域の本川及び支流における微量元素の現状を明らかにすること等を目的として、約50種類の元素を対象とし濃度レベルを把握しました。一部の元素は25年ほど前にも調査実績があり、今回のデータとの比較・検討を行いました。また、極低濃度の希土類元素等については、キレート樹脂を用いた濃縮法を試み、基礎的な情報を得たので報告します。

都内中小規模事業所における省エネの推進に関する研究

次世代エネルギー研究科

片野 博明

2050年CO2排出実質ゼロに向け、大幅な省エネが求められています。本発表では、「都内中小規模事業所における省エネの余地を分析した結果」、「都内中小規模オフィスにおける省エネ推進の課題に関するアンケート結果」について報告します。

※ 今回の発表以外の分野の調査研究を紹介したポスターも同時にホームページに掲載し、質問の受付と主な質問への回答掲載を行います。受付・掲載期間は研究発表の期間と同様です。

※ 今後の参考のため、アンケート（回答時間：10分程度）へのご協力をお願いします。

